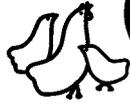


バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

〈これからの予定〉

○12月14日(水)
「第17回定期大会」
13:30~17:00
名古屋都市センター

愛知県職連合女性部しんぶん



あゆむ

第345号 (2022年10月)

発行 県職連合女性部
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1
直通 052(951)4036
FAX 052(972)0649
FAXフリ-アケス 0120(930)340
http://www.aichikenshoku.gr.jp
E-mail josei21@aichikenshoku.gr.jp
発行責任者 山崎真弓

2022女性の要求

「誰もが働きやすい 職場環境」をめざして

分会女性集会開催：73分会 711人 要望・意見提出：137職場

女性部では、「2022女性の要求」を取りまとめるため、6月中旬から7月に分会女性集会等を実施し、意見や実態を報告していただきました。

今年度は新設された出生サポート休暇や生理休暇についての質問事項への回答のほか、育児・介護に関する意見が出されました。

女性部は「誰もが働きやすい職場環境」をめざして、その実現のために女性の視点から様々な課題を取り上げていきます。

分会からの 主な要望や意見

出生サポート休暇

【制度設計】

・本人のプライバシーへの配慮が必要。取得しやすい休暇にするためには、書類の提出先を含め、細部の調整が重要である。

・通勤先や勤務地によっては年間5日間では不足するため、日数の増加を進めてほしい。

・診断書の提出を求めることで心理的なハードルが上がる。診断書の内容を省略可能にするか、もしくは領収書でも対応可能にしてほしい。

【その他】

・制度や申請方法について、周知が不十分である。

上司も制度のことを知らないため申請できない。
・職場での理解が必要なため、啓蒙活動を一緒に行う必要がある。

生理休暇

【名称変更】

・名称に強い抵抗感がある。特に上司が男性の場合、申請しづらいため、名称変更を求める。

・生理は女性特有のものであり、直接的な名称は取得の妨げになる。「ウェルネス休暇」や「女性性休暇」「女性サポート休暇」へ変更してほしい。
・「生理」が休暇の正式な理由となるという認識



が広がってきているため、名称変更は必要ないと考えている。

【取得単位】

・出勤後に体調が悪化することもあるため、時間単位で取得できるようにしてほしい。

・年に何度も起こることであり、また不調の内容も人によって違うため、取得にあたってはより柔軟な対応が必要である。

・午後に休暇を取得すると、一日の扱いとなり午前中に出席した会議に欠席扱いとなるのは違和感があるため、時間単位で取得したい。

【その他】

・職場の中で取得している人がいない。制度を利用しやすい環境を整備してほしい。

・休暇ではなく、在宅勤務として申請することはできないのか。

・取得のためには周囲の理解が必要不可欠であるため、理解を深めるためにも新人研修等で休暇制度についての説明を行い、周知してほしい。



【制度設計】

・復帰する際の配属先について、早めに教えてほしい。配属先が分からな



いと、時短にするのか部分休業にするのかなど、働き方を選択することができない。

・引継ぎがしやすいよう、一週間程度の慣らし復帰期間を設けてほしい。

・男性の育児休業への支援も同時に増やすべきである。

【環境の整備】

・職場を離れる際、代替人員を速やかに補充してほしい。

・育児中の研修についてなど、連絡が行き届かない場合がある。育児中の研修についてはオンライン開催してほしい。ま

た、連絡体制を整備してほしい。

【その他】

・職場と育児取得者が定期的にコミュニケーションをとれる制度は必要だと思う。

・休暇取得中に職場での決定や新たに導入された制度、システムの改修などを事前に把握しておくことで、スムーズに復帰することができる。

・システムの変更点や操作方法など、資料として提供してほしい。



【制度設計】

・更年期の不調に対する休暇を新設し、男女問わず取得できるようにすべき。

・フレックスタイムや短勤務が取得できるよう



な制度を作してほしい。

・生理休暇とセットにして婦人病対応の休暇とし、更年期の不調でも取得できるようにすれば幅広い年代に対応できる。

・勤務後に病院に行くのは困難なため、通院しやすくなる制度を作してほしい。

【環境の整備】

・人によって大きく症状が違い、理解を得るのが難しい。研修などで周知をはかるべきである。

・日ごろから上司と部下が気遣いあえる関係であ

れば、使いやすい制度になると思う。

【その他】

- ・ 自分自身が更年期障害だと気づいていない場合がある。検診項目にホルモン値の測定などを盛り込んでほしい。
- ・ 勉強会や「あゆみ」を利用して啓蒙活動に取り組んでほしい。

その他

【育児】

- ・ 短時間勤務を取得できる期間を、現在の未就学児から小学校6年生まで拡大してほしい。



- ・ サポートを必要とする子供を持つ親が計画的に休暇をとれる制度があるとうい。

- ・ 子の看護休暇の日数を、子ども1人につき5日まですべてしてほしい。

- ・ 育休代替が1年を通して必要な職場では、臨時職員ではなく専門職員、または正規職員を増やしてほしい。

- ・ 夜勤の際の夜間保育や病児保育を行ってほしい。

【介護】

- ・ 介護世代にも働きやすい環境を整備するため、時短がほしい。

- ・ 介護は今後、育児と同様に大きな課題となる。介護を担う職員は年齢的にも役職に就いている可能性が高く、業務面で負担を軽減する制度が必要。

【労働環境】



- ・ 職員が着替える場所が職場内に無い。更衣室やパーテーションなどで着替えができる場所を作ってほしい。

- ・ 在宅で行う外部研修を休日に行うのはやめてほしい。

- ・ 育児中の職員へのサポート体制と同様に、独身者や子供を持たない職員への配慮もしてほしい。

- ・ 子供が小学生の間は非常配備が回ってこないように制度を定めてほしい。
- ・ 洋式トイレを増やしてほしい。

- ・ 給湯室などの設備を清潔なものにリフォームしてほしい。

【休暇】

- ・ 休暇の種類や制度などをよく知らない。ちらしなどで定期的に周知を図ってほしい。

- ・ すべての休暇を30分単位で取得できるようにしてほしい。

【人員不足】

- ・ 恒常的な人員不足のため恒常的な時間外勤務となっている。年休や夏季休暇の取得も困難であり、この状況では時間外勤務の削減は不可能である。

- ・ 少人数の職場では、育休代替などが臨時的任用職員だと職務の偏りが大きくなる。正規職員を配置してほしい。



【質問等】

- ・ 永年勤続休暇は家族休暇に含まれるのか。
- ← 家族休暇に含まれます。
- ・ はぐみん休暇とはなにか。

← 休暇制度として成立しているわけではなく、年休を子供のために取るという取り組みです。

「ご意見ありがとうございます。ありがとうございました。」

報告いただきました内容は、「2022女性の要求」に反映するとともに、人事課との意見交換会で取り上げさせていただきます。



シブリアパークが またおもしろい

心地よい
行楽シーズ
ンとなりま
したね。そ
してシブリ
パークのオー
ブンが近づ
いてきました。



所属は関
係ないただのファンです。
三鷹の森シブリ美術館や
企画展に何度も行き、そ
の丁寧で情熱を感じる展
示品に大好きなシブリの
世界を体感し、感動して
います。

ご存じのとおり愛・地
球博記念公園の中に点在
してシブリパーク5エリ

アが整備されます。今年
11月1日に先行して3エ
リア（「青春の丘エリア」、
「シブリの大倉庫エリア」、
「どんどこ森エリア」）
がオープンします。チケッ
トは日時指定の事前予約

制でエリアごとに販売さ
れます。再入場不可です。
「シブリの大倉庫」のみ
飲食店があります。（9
月時点情報）

心配な
のは交通
渋滞のお
それと、
公園は広
大で起伏が多く、
各エリアが離れ
ていることです。
そこで時間に余
裕を持って着いて公園の
散策や他の施設で遊ぶこ
と、シブリパーク以外の
飲食店の利用・お弁当の
持参はいかがでしょうか。
特に小さなお子さんには
愛知県児童総合センター



という有料の大型室内遊
び場もおすすめです。交
通手段はリニモを考えて
みてください。乗り物好
きな3歳の息子は最前か
らかぶりつくように見て
いました。計画を立てる
のも楽しいですね。
楽しみましょう！
（西尾保健所
上田 美幸）

半田赤レンガ建物に 行ってみませんか？



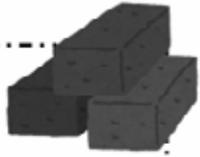
半田赤レン
ガ建物は、明
治31年（18
98年）に建設されたカ
フトビール醸造工場跡で

す。約240万丁のレン
ガを使用し、明治時代に
建てられたレンガ建造物
としては、日本でも5本
の指に入る規模であり、
現存数が極めて少ないた
め、大変貴重な建造物で
す。現在、国の登録有形
文化財及び近代化産業遺
産に登録されています。
夜には建物がライトアッ
プされており、幻想的な
雰囲気を感じられます。



建物内にあるカフェ&
ビアホール「Rの・Rの
ス」では、復刻された生
カフトビールを味わうこ
とができます。また、毎
月第4日曜日にはマルシェ
が開催され、地域にゆか
りのある出店者が、商品・
フード・体験を提供して

住所 : 〒475-0867 半田市榎下町 8
電話 : 0569-24-7031
利用料 : 見学自由。常設展示室は大人200円（中学生以下は無料）
利用時間 : 9～17時 ※カフェ10～17時、ショップ10～17時
定休日 : 年末年始12月29日～1月3日
アクセス : 名鉄河和線住吉町駅下車、東へ徒歩5分
※詳細は、半田赤レンガ建物 公式ホームページをご確認ください。



おり、ゆっ
くり楽し
むことが
できます。
ぜひ一
度、お出かけください。
（知多農林農改課
長屋 由紀子）

